

明治24年、
九州鉄道の起点が誕生した。

九州鉄道路線の出発点 鉄道のワンダーランド

ミニ鉄道公園

信号が青になったら「出発進行!」、対向列車がある時は「停止!」して信号が変わるのが待つ。こんな本格的なミニ鉄道は全国的に見てもほとんどありません。一周130mで子供が自分で運転する事が出来るミニ鉄道は鉄道記念館の目玉の一つです。
[1台につき1回／300円]



※雨天・強風の場合、運休することがあります。
※1台に3名までご乗車になります。
※平日は2台、土日祝は5台が運行します。

ミニ鉄道公園

前頭部展示 運転台見学

前頭部車両3台はいずれも九州で活躍した車両で、EF30 3、ED76 1、485系電車のクハ481 246の運転台が展示されています。どの車両も中に入り運転機器を操作することができます。



【九州鉄道記念館】

本館 (旧九州鉄道本社屋)

近代化産業遺産(平成19年度認定)・国の登録有形文化財(平成26年度認定)



この本館は1891年(明治24年)に旧・九州鉄道会社の本社として建てられました。以降、鉄道院、鉄道省、日本国有鉄道、九州旅客鉄道などへ所有は移りましたが、一貫して九州の鉄道の中枢機能を果たしてきた建物です。



コースのご案内

お急ぎの方は、車両展示場と本館展示場見学で約30分

◇ 中央ゲートコース (60分～)

車両展示場▶本館(明治時代の客車▶運転シミュレーター▶九州の鉄道大パノラマ▶2階展示場)▶ミニ鉄道公園▶前頭部展示場

◇ 西ゲートコース (60分～)

本館(明治時代の客車▶運転シミュレーター▶九州の鉄道大パノラマ▶2階展示場)▶ミニ鉄道公園▶前頭部展示場▶車両展示場

旧0哩標 (旧ゼロマイル)



明治24年に九州鉄道会社が門司駅(現門司港駅)を開業した際、九州鉄道路線(鹿児島本線)の起点と定めた標識です。大正3年に駅が現在の位置に移ったため、起点も移転しましたが鉄道記念館の開館にあたり「旧0哩標」として再現されました。

ACCESS



JR 門司港駅からすぐ (※徒歩3分)

- 山口方面 中国自動車道ご利用のお客様…門司港ICより車で約5分
- 八幡方面 北九州都市高速道路ご利用のお客様…春日ランプより車で約5分
- 福岡方面 九州自動車道ご利用のお客様…門司ICより車で約7分

料金のご案内

大人	入館料 個人 300円 団体 240円
-----------	---------------------------

中学生以下	入館料 個人 150円 団体 120円
--------------	---------------------------

※4歳未満は無料。団体は30名様以上です。※再入館は出来ません。

※「北九州市年長者施設利用証」「北九州市在住(65歳以上)であることが確認できるもの」「下関市在住(65歳以上)で介護保険被保険者証」をお持ちの方は2割引(240円)です。

※北九州市在住で「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「戦傷病者手帳」をお持ちの方は無料です。

(入館の際、ゲートにてご提示下さい)

- ペットおよび飲食物の持ち込み、敷地内での喫煙はお断りいたします。



午前9時～午後5時まで
(入館は午後4時半まで)

第2水曜日 (但し7月/第2水・木曜日、8月は休みなし)
※第2水曜日が祝日の場合は、翌日を休館日に振り替えます。

九州鉄道記念館 〒801-0833 北九州市門司区清滝2-3-29

TEL 093-322-1006 / FAX 093-332-7233

E-mail k-tetsudo@k-rhm.jp URL <http://www.k-rhm.jp>



九州鉄道記念館
Kyushu Railway History Museum
Since 2003

鉄道は数ある乗り物の中で最も魅力にあふれている...

懐かしくて楽しい
鉄道ワールドをあなたに!

D 明治42年製造! 明治の客車

この客車は明治から昭和初期まで活躍した古典的な四輪の三等車を復元したもので、畳の座席や落とし窓などが往事を偲ばせます。百年前のプラットホームの会話が再現されています。



F 本線1番出発進行! まさに本物 運転シミュレーター

本物の811系近郊型電車の運転台に座って門司港-折尾間を運転しよう! 前方の窓の外は本物の風景、臨場感あふれる運転体験ができます。運転モードも(初心者、ノーマル、プロフェッショナル)の3クラス、さあ本物の運転士さんに挑戦して下さい。

※ 1回100円 2区間(約8分)



E 居ながらにして九州一周! 九州の鉄道大パノラマ

博多駅を中心に九州中の大人気列車が繰り広げる鉄道模型のショーランド! 「ソニック」や「かもめ」、「さくら」等が次々と発車、お客様がご自分で運転する列車「あそぼーい」「つばめ」は前方風景が大型スクリーンに映し出され気分はまさに運転士。九州の列車検索パネルで遊べば君はもう鉄道博士。九州の鉄道の1日を約10分で体験できます。

※ お客様運転
1回100円(約3分)



G おもちゃで遊ぼう! キッズルーム

いろんな鉄道のおもちゃがいっぱいのコーナー。「ソニック」や「新幹線」、「ゆふいんの森」など九州の列車が大集合。たくさん遊んでいっぱいお友達を作っちゃおう!



H 楽しいグッズがいっぱい! ショップゼロマイル

鉄道グッズを始め、門司港レトロ関連商品などお土産にもコレクションにも最高の品々が山盛りです。



TEL:093-321-5500

車両展示場

歴代の雄姿が語りかける、あなたを乗せたあの時代。

駅のホームを思わせる展示場に、九州で活躍した名車両9台(4台は車内見学もOK!)が並びます。実物の大きさや迫力、造形美を実感してください。



日本国有鉄道 59634

製造年: 大正11年 製造会社: 川崎

9600型は初の国産貨物機関車で770両が造られました。キウロクと呼ばれて愛され、当機はその番号から「ごくろうさんよ」とも呼ばれました。北九州地区に最後まで残った蒸気機関車の1両です。



日本国有鉄道 C59 1

製造年: 昭和16年 製造会社: 汽車会社

東海道・山陽本線の主力機関車として誕生。昭和31年に門司港に配属となり寝台特急「あさかぜ」などを牽引しました。廃車まで地球62周分を走行し準鉄道記念物となっています。



日本国有鉄道 EF10 35

製造年: 昭和16年 製造会社: 東芝

門倉トンネル開通時に、この区間のために配置されたトンネル専用直流電気機関車です。以来、昭和36年の北九州地区の電化まで本州と九州を結ぶ客車や貨物列車はEF10型が牽引していました。



日本国有鉄道 ED72 1

製造年: 昭和36年 製造会社: 日本車輌

北九州地区的電化に伴い登場した、九州初の交流専用電気機関車で、晩年は貨物列車にも使用されました。当車両は試作機関車で、他の同型機とは若干趣が異なっています。



日本国有鉄道 キハ107 41

製造年: 昭和42年 製造会社: 日本車輌

戦前の代表的な機械式(クラッチ方式)気動車。当時流行の流線型の半円形スタイルが印象的で、戦前に製造された同型車で原形を保っているのはこの車両だけです。



日本国有鉄道 クハ481-603

製造年: 昭和44年 製造会社: 日本車輌

昭和33年に登場した特急「こだま」の発展型。直流・交流に対応した481系で、九州へ本州の直通運転を可能にしました。九州では「にちりん」「かもめ」「有明」として活躍。昭和59年に小倉工場で普通電車に改造されました。



日本国有鉄道 クハネ581-8

製造年: 昭和42年 製造会社: 日立製作所

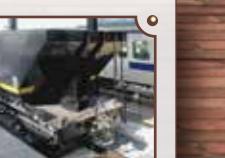
初の寝台電車特急としてデビューした581系は、夜間に寝台特急「みどり」として、昼間は座席特急「みづほ」「はやぶさ」「富士」などで使用され大活躍しました。



日本国有鉄道 スハネフ14-11

製造年: 昭和47年 製造会社: 国鉄小倉工場

14系寝台車は第二世代のブルートレインとしてデビューし、幅広の寝台で居住性がよく九州では「さくら」「みづほ」「はやぶさ」「富士」などで使用され大活躍しています。



日本国有鉄道 セラ1239

製造年: 昭和35年 改造会社: 国鉄小倉工場

九州の石炭車の歴史は九州鉄道が開業時にドイツから7トン積み15両を輸入してスタートしました。この車両は17トン積みのボッパ車で石炭専用の底開式になっています。

A 貴重な鉄道関連資料展示 常設展示コーナー

今となっては懐かしい歴史的な名列車の「ヘッドマーク」、昭和の時代が懐かしい「長距離切符」、歴代の「制服」などまさに宝が大集合。見て、触れて本物を実感して下さい。



B 企画展示コーナー

写真展や模型展、鉄道部品展など季節ごとに見応えいっぱいの企画展を開催しています。



C 情報コーナー

パソコンや書籍であらゆる鉄道情報をお紹介、自分で調べて詳しくなりましょう。
(図書は土・日・祝日のみ閲覧できます)

